

授業科目名	介護過程 I 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
担当者氏名	柴田 博	実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

これまで学習した知識や技術を統合して、介護過程を展開し、介護計画を立案し、適切な介護サービスを提供できる能力を養う学習とする。「介護過程」は、利用者を主体とする生活支援活動の展開方法であり、利用者理解を図りながら、情報収集、その分析・解釈、計画の立案、実施・評価等の基本的なことを学ぶ。

【到達目標】

- 1) 介護過程の理論と利用者のニーズを関連づけながら、展開する能力の基礎を身につける
- 2) 情報収集、その分析・解釈、計画の立案、実施・評価等の基本的を身につける。
- 3) ケアマネジメントと介護過程の関係性を理解する。

【授業計画と内容】

- 第 1 回 介護過程の意義と目的
- 第 2 回 介護過程とICF
- 第 3 回 介護過程と事例検討
- 第 4 回 介護過程とケアマネジメントの関係性
- 第 5 回 ケアプランと個別援助計画の関係性
- 第 6 回 チームアプローチにおける介護福祉士の役割
- 第 7 回 チームアプローチの実際
- 第 8 回 介護過程の理解
- 第 9 回 介護過程の展開
- 第 10 回 介護過程の立案
- 第 11 回 介護の実施
- 第 12 回 評価
- 第 13 回 アセスメントの意義
- 第 14 回 情報収集の方法 (ICF モデルの活用)
- 第 15 回 アセスメント (解釈・関連づけ・統合化)

【授業実施方法】

講義・演習

【授業準備】

支援サービスの種類を学習しておくこと。

【主な関連する科目】

「介護総合演習」

【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会編『第 9 巻 介護過程』中央法規出版

【参考文献】

必要時に資料を配布

【成績評価方法】

レポート内容等 100%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

障害者施設において、高齢者および障害者のケアマネジメント経験あり。
実務経験を利用者のケアマネジメントに活かした授業を展開する。

【学生へのメッセージ】

どのような支援が求められるのかを思考して欲しい。